

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 水島エルエヌジー株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8071 倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地	
本票作成	部署名：オペレーション・技術部				
主たる業種	分類コード	34	業種名：ガス業		
事業の概要	・LNGの受入、貯蔵、気化およびガス送出事業（令和6年度 年間取扱量70.2万 t） ・基地増設工事が完了し、平成23年4月より稼働開始				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島LNG基地		倉敷市水島海岸通 4 丁目 2 番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6) 年度排出量	目標年度 (令和 6 年度)
排出量	26,363 t CO ₂	29,594 t CO ₂	26,099 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6) 年度排出量
	①	水島LNG基地	29,594 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 8.7 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ガス製造業	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6) 年度	目標年度
		32.665 t CO ₂ /(百万Nm ³)	35.498 t CO ₂ /(百万Nm ³)	32.339 t CO ₂ /(百万Nm ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

(1) 排出量について：令和6年度は、BOG再液化設備稼働によるCP-7稼働減、気化器の効率運転による海水ポンプ電力消費減等により消費電力削減に取り組んだが、ガス製造量増加（基準年度比約103%増）に伴う消費電力増加、およびDCS更新工事での運用制約に伴う機器稼働増加等により、消費電力は基準年度比で1,100MWh(約103%)増加した。また、電力供給元であるENEOS株式会社A工場※の排出係数が悪化した影響もあり、排出量が増加した。(0.000503 tCO₂/kWh⇒0.000779 tCO₂/kWh)
※ENEOS(株)水島製油所(以下、水島製油所)と水島エルエヌジー(株)(以下、水エル)は、合同事業所として設置・運営しており、水エルは水島製油所から電力含むユーティリティ供給を受けている

(2) 原単位について：・分母であるガス製造量については前年度比103%程度増加したものの、消費電力増加（基準年度比約103%増）およびENEOS株式会社A工場の排出係数が悪化した影響による排出量の増加により、目標未達となった。

【推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。 ・当社はエネルギー管理を含めた運転保守管理をENEOS(株)へ業務委託しており、委託先であるENEOS(株)は1999年にISO14001を認証取得している。 ・省エネを目的とした会議を関係者で定期的に行い、積極的に情報交換やアイテム発掘を行っている。
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島LNG基地	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧気化器(海水ポンプ) の稼働台数適正化による、海水ポンプの消費電力削減 5,970MWh/年 ・ BOG処理の適切化による、CP-7の消費電力削減 9,740MWh/年 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LNG気化器の運転方針を見直すことで、安定・安全操業を損なわない範囲で高圧気化器(海水ポンプ) の稼働台数適正化を図り、海水ポンプの消費電力を削減する。(令和7年度：) ・ 再液化装置、オフガス、水島3号の運転データを管理・分析し、利用拡大することで、BOG処理の適切化を行い、CP-7の消費電力を削減する。 ・ LNG気化器冷却待機時の海水流量削減による消費電力削減を目的とした海水ポンプのインバータ化検討(改造内容・省エネ効果の把握等)を実施する。 ・ LNG基地内照明のLED化検討(取替計画の策定等)を実施する。 ・ 社有車を環境負荷の少ない自動車(ハイブリッド車、EV車等)へ転換する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	令和6年度：岡山県高梁市の間伐、下刈りなどの森林保全活動(ENEOSみらいの森)にボランティア参加 今後の予定：水島LNG基地内の低木補修(枯れ木の再植栽)
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--